

いゅうがく館だより

令和5年6月号



5月に龍南中学校と赤徳中学校の生徒さんが職場体験学習でいゅうがく館に来てくれました。親子読書室の飾りつけや蔵書の整理、ポップの作成など様々なお仕事に挑戦して頑張っていました。この経験が皆さんの学習に役立ちますように！



お知らせ

いゅうがく館2階の文化財展示室では、復帰70周年を記念して特別展を開催中。資料は竜郷村の復帰嘆願署名録や当時の写真なども展示しています。この機会にぜひご来館ください。

～ 新着図書案内 ～

《一般書》

- 『SHO-TIME 大谷翔平』(ジェフ・フレッチャー/徳間書店)
- 『私たちの金曜日』(有川ひろ 他/KADOKAWA)
- 『無用の効用』(ヌッチョ・オルディネ/河出書房新社)
- 『勉強が面白くなる瞬間』(バクソンヒョン/ダイヤモンド社)
- 『中国語は不思議』(橋本 陽介/新潮社)
- 『江戸の女子旅』(谷釜 尋徳/晃洋書房)
- 『僕とアンモナイトの1億年冒険記』(相場 大佑/イースト・プレス)
- 『72歳、好きな服で心が弾む、ひとり暮らし』(ロコリ/KADOKAWA)
- 『刺し子糸で楽しむ刺繍』(堀川 波/誠文堂新光社) 他

《児童書》

- 『いつか君に会ってほしい本』(田村 文/河出書房新社)
- 『化石のよぶ声がきこえる』(ヘレイン・ベッカー/くもん出版)
- 『はるかぜさんぽ』(えがしら みちこ/講談社)
- 『昆虫の惑星』(アンヌ・スヴェルトルップ/辰巳出版)
- 『女子バレーボール基本と戦術』(大山 加奈/実業之日本社)
- 『とりさんなんのぎょうれつ?』(オームラトモコ/ポプラ社)
- 『かくれているよ』(新井 洋行/白泉社)
- 『3分間サバイバル』(粟生 こすえ/あかね書房)
- 『けんかのたね』(ラッセル・ホーバン/岩波書店) 他

今月の特集は
海

今月のおすすめ本

《一般書》

『日本の自然をいただきます』

(ウィニフレッド・バード/亜紀書房)

北海道から九州まで、農耕以前よりこの国で食べられてきた野草や海藻を土地へ赴き、調べ、食べる、異文化食紀行。



『94歳セツの新聞ちぎり絵日記』(木村 セツ/里山社)

90歳で始めた新聞ちぎり絵で話題になった木村セツさんの作品集。毎朝仏壇神棚に手を合わせ、ちぎり絵を作り、よく食べ、猫と遊び、まわりに感謝して過ごす日常の絵日記です。



《児童書》

『スクラッチ』(歌代 朔/あかね書房)

コロナ禍でバレーの「総体」が中止になった鈴音。出展するはずの「市郡展」の審査がなくなった千咲。コロナ禍に立ち向かうすべての人に贈る、疾走する魂の物語！



『それで、いい!』(磯 みゆき/ポプラ社)

絵を描くのが大好きな、きつね。あるとき、展覧会に絵を出すよう勧められたきつねは「みんながおどろくような、すごい絵を描く!」と意気込みますが…

